

分野	森林を育成する治山			事業番号	34	事業名	水源地域等保安林整備 (水源森林再生対策)		
市町村名	岡谷市		ふりがな 箇所名	よこかわざん 横川山		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~ H28 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	森林整備117.00ha、作業車道1,700m、谷止工 1個、床固工 3個、山腹工 1.20ha				H23年度末 事業進捗率	-		
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	-		
	H24年度実施内容	森林整備 19.80ha、作業車道 1,000m、床固工 1個				用地補償費ベース	-		
	年度	全体事業費		H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降		
財源内訳	事業費計(千円)	260,000				60,000	260,000		
	国庫支出金	130,000				30,000	130,000		
	その他								
	県債	117,000				27,000	117,000		
	一般財源	13,000				3,000	13,000		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	(20)	必要性	保全対象人家	150戸以上	50戸以上150戸未満	50戸未満	A	5	
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし	3			
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし	0			
		保全対象(保安林・林業用施設)	保安林率50%以上かつ利水施設あり	保安林率30%以上50未満又は利水施設あり(計画含む)又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満	7			
	小計							15	
	(15)	重要性	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし	B	5	
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小	1			
		防災計画上の位置づけ	あり	なし		5			
	小計							11	
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	B	10	
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上	0			
		流域の総合調整	あり	なし		0			
	小計							10	
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上	A	7	
平均深床勾配(平均山腹勾配)		10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)	6				
下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)		なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)	3				
危険地区危険度		Aランク	Bランク	Cランク	なし	7			
小計							23		
(20)	計画	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	B	7		
	事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない	3				
	住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない	3				
小計							13		
費用対効果(B/C)		2.15		評価の合計		B		72	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	岡谷市の重要な水源地域となっている横河川流域の森林については、近年の気象害、獣害等により荒廃が進行している。このまま放置すると、荒廃森林、崩壊地の拡大等により、水源地としての役割が損なわれるだけでなく、土砂流出による下流への被害のおそれもある。							
	地域からの要望経緯	H23年6月、岡谷市より文書で要望される。							
	事業説明等の経緯	森林整備を中心とした治山事業の導入については、説明済み。(地区指定事業の導入について、事業概要の説明は今後行う。)							
	環境・景観への配慮項目	渓流の魚類をはじめとした生物の保全に配慮した溪間工を整備する予定。(地域の主要な魚場となっている)							
	他事業・プロジェクトとの関連	「生物多様性保全型治山対策検討委員会」(林野庁)が当該地域を調査対象として活動を行っている。(当該事業において検討内容を反映させる予定)							
特記事項	特になし。								
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他			
部意見	岡谷市の重要な水道水源森林が近年の気象害、獣害等により荒廃が進んでいるため、施設整備と森林整備を一体的に進め、森林の持つ水源かん養機能と土砂流出防止機能の高度発揮を早急に図る必要がある。			政策評価課意見	必要性、緊急性が認められる。				